

単 元 名	せかいでひとつ わたしのおもちゃ  <b>おもちゃランドをせいこうさせよう</b>
-------------	---

教科書出版社名 ( 新興出版社啓林館 )

○ 小学校 ( 2 ) 年 教科等 ( 生活、図画工作、国語 )

○「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

<p>(教科等で付けたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生を招待して開催するおもちゃランドに向けて、身近にある物を利用したおもちゃ遊びを創り出すことができる。</li> </ul> <p>(学校図書館等の活用で付けたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工作に関する本を探し、そこで得た情報を自分のおもちゃ作りにつなげることができる。</li> </ul>
--

○この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報収集 …学校図書館の本を利用して、作りたいおもちゃや遊び方の情報を集める。</li> <li>●整理・分析 …クラゲチャートを使い、目的に応じた工夫と自分の考えを整理する。</li> <li>●まとめ・表現・発信…おもちゃランドを開催するにあたって、「1年生に楽しんでもらう」という目的意識を持ち、自分で工夫し考えを表現する。</li> </ul>
--

○学習の展開 (全24時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次 ☆ (8時間) <b>生活</b> せかいでひとつわたしのおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で工作の本を探し、イメージをつかむ。</li> <li>・本を参考に、おもちゃをつくる。(本時)</li> <li>・つくったおもちゃの中から、おもちゃランドで扱いたいおもちゃを選ぶ。</li> <li>・本も参考にしながら、自分でおもちゃの工夫や遊び方を考える。</li> <li>・考えをもちより、班で遊び方やルールを考える。</li> </ul>
第2次 ☆ (2時間) <b>図工</b> かみざらころころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料を使って、おもちゃを作る。</li> </ul>
第3次 (12時間) <b>国語</b> 馬のおもちゃの作り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順を示す文章の書き方を学ぶ。</li> <li>・先に学んだ説明の工夫を生かして、自分のおもちゃの作り方の説明書を書く。</li> </ul>
第4次 (2時間) <b>生活</b> せかいでひとつわたしのおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生を招待しておもちゃランドを開く。</li> </ul>

(本時 2 / 24 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
 ・図書館で見つけた工作の本を参考に、おもちゃを作ることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	<p><b>1. 本時のめあてを知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>本を参考にして、おもちゃを作ろう</b></p> </div>	<p>・前時のうちに工作の本にたくさん触れ、つくりたいおもちゃと必要な材料を考えておく。</p>
30	<p><b>2. 自分が作りたいおもちゃを、本を参考にしながら作る。</b></p> <p>・本に載っている材料と同じものがなかったら、似た材料が代わりに使えないか、工夫する。</p> <p>・本を参考にしながらも、自分自身の創意工夫を加えながら作る。</p> <p>・友だちとおもちゃを見せ合ったり、アドバイスをし合ったりする。</p>	<p>学校図書館司書と連携し、市立図書館から借りた本も含め、1人1冊、本を持てるよう準備する。</p> <p>・参考にする本の内容が難しい場合は、別の本で紹介されている似たおもちゃを見せたり、自分なりの工夫を加えていいことを伝えたりする。</p>
5	<p><b>3. 今日の授業をふりかえる。</b></p> <p>・次回の授業で、どのように続きの活動を進めていくか確認する。</p>	<p>・皆で集めた材料を譲り合って使うことができているか留意する。</p>

図書館活用ポイント

